

平成25年度 事業計画書

平成25年度における各事業の概要は次のとおりです。

1 博物館事業

魅力ある博物館づくりをめざし、常設展示をはじめ特別展・ミニ企画展等の充実を図り、学校教育活動等特に総合的な学習への協力等を行い、絹知識の普及と需要の推進に寄与するよう努めます。

(1) 普及事業

ア 一般展示事業

(ア) 養蚕実演・蚕種配布・総合学習支援事業

飼育展示期間 通年（12月下旬を除く）

蚕種配布対象 県内及び近都県の小学校・幼稚園等 約600校

(イ) ミニ企画展示

○ 田島比呂子作品の展示

[会 期] 平成25年6月15日（土）～7月15日（月）

○ つまみかんざしの展示

[会 期] 平成26年3月1日（土）～3月23日（日）

○ 実演・講習会の開催

「くみひも作り実演と講習会」「クテ打組紐講習会」「手作り真綿の講習会」「真綿からの太糸作り実演と講習会」「真綿太糸指編み実演」「手紬糸作り実演と講習会」「つまみかんざし講習会」等を開催し、これらの実演や体験を通して、繭、生糸、真綿、絹への理解を深め絹需要の促進に努めます。

○ シルキークリスマスの開催

[会 期] 平成25年12月3日（火）～12月23日（月）

若い世代を含めた多くの方々にシルク博物館に足を運んでいただき、シルクの不思議と魅力を知っていただくためのイベントを東京農業大学及び関東学院大学等と連携して行います。

かいこの飼育観察を行っている学校等で子供たちにより作成された観察絵日記等「かいこの観察記録」を展示して、自然の営みのすばらしさを再確認し、学校相互の情報交換の機会を提供します。

イ 特別展事業

(ア) 特別展 「群馬県立日本絹の里との提携記念 夢を紡いだシルク

～「蚕の国」群馬と「シルクの街」横浜～」

[会 期] 平成25年4月27日（土）～6月9日（日）

シルク博物館と群馬県立日本絹の里との姉妹提携を記念し、養蚕・製糸の歴史

と現在、富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産登録への取り組み、さらには生糸の輸出港であった横浜のシルクの栄光を追うことで、群馬と横浜のつながりの深さを展示や講演などで紹介します。

(イ) 特別展 「美しい日本の絹 友禅」

[会 期] 平成 25 年 10 月 1 日 (火) ～11 月 24 日 (日)

シルク博物館所蔵作品の名作と関東地方在住の友禅染作家の近年の作品を中心に友禅染を展覧します。

(ウ) 特別展 「親と子のかいこの自然科学教室」

[会 期] 平成 25 年 7 月 23 日 (火) から 8 月 25 日 (日)

かいこの生態観察や糸繰り、はた織り、まゆ人形作り、真綿作りなどの体験学習を通して自然の営みを知り、自然と共存することの大切さなどを学ぶ教室を開催し、理科教育や総合的な学習などの支援を行います。

(2) 広報事業

小・中学校をはじめ、服飾関係学校、ホテル、旅行会社や新聞、雑誌、報道機関への広報、ポスター掲示、インターネット等を積極的に利用して来館者の増加を図り、絹知識の普及と需要増進に寄与するよう努めます。

(3) 博物館実習生の受入れ

今年度も大学で学芸員資格を取得するため、博物館学を履修している学生の博物館実習を受入れます。

2 部室提供事業

ホームページを活用したPRなどによりテナントの誘致を積極的に展開し、良質な部室の提供に努め、入居率の一層の向上をめざしますとともに、地場産業であるシルク産業の振興支援のための宣伝、普及販売促進への取り組み、地域住民の公益的活動等の活動成果の発表等の場を提供します。

(1) 一般の部室賃貸事業

(2) シルクセンターS O H Oの部室賃貸事業

(3) 部室活用事業

3 建物及び諸設備等の維持向上業務

本年度においても会館の財務状況を踏まえつつ、会館全体の一体的管理の観点から建物設備の安全の確保や長期寿命化を図るとともに、良好な執務環境の整備に努めます。

4 附帯事業

入館者の利便に供するため、月極め立体機械式車庫の適切な管理運営に努めます。正面玄関前時間貸平面駐車場はタイムズ24株式会社に管理運営を委託します。